

農業委員会だより

No.186

〒970-8026
いわき市平字堂根町4-8
TEL.0246(22)7534
FAX.0246(22)7538

編集・発行 いわき市農業委員会



すくすく育て 希望の稲 暑さに負けず 今日も草刈り

主な記事のご紹介

2ページ

● 農地パトロール

3ページ

● 情報活動表彰
● 農業委員会だより
全国コンクール

4ページ

● 今号の表紙から

● がんばる農業者
あの人 この人
細谷 弘幸さん(平赤井)

5ページ

● 農地流動化情報
● 農業者年金

6ページ

● 地区だより
● トピックス

熱中症に
ご注意ください



8月から11月は「農地パトロール強化月間」です!



昨年の農地パトロール(営農型太陽光発電設備の設置に係る営農状況調査)

農地パトロール強化月間とは

毎年8月から11月を農地パトロール強化月間として、農業委員と農地利用最適化推進委員、事務局職員が、①地域の農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用の発生防止・早期発見を目的に現地調査を実施するものです。また、広報車や市ホームページ等の広報活動を通じて、市民への法制度の普及啓発を図ります。

実施スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	・・・	概ね6か月後
農地パトロール(利用状況調査) 農業委員・推進委員			集計						
				利用意向調査 所有者等に郵送		郵送	集計	現地確認	協議の勧告

農地パトロールへのご協力を

同パトロールのため、農業委員や農地利用最適化推進委員が農地に立ち入ることがありますので、ご協力をお願いします。

調査後はどうなるのか

所有者の意向を踏まえ、農地を効率的に利用できるよう、農地中間管理機構への貸出や、本紙面「農地流動化情報」への掲載などの支援を行います。

ご不明な点はお問い合わせください

農地調査係 ☎(22)7574

利用意向調査は必ず返信を

遊休農地や遊休化のおそれのある農地に関しては、所有者・借受人に今後の利用方法の意向を確認するための書類を郵送しますので、必ず返信ください。



全国農業新聞情報活動表彰

いわき市農業委員会 全国第1位

「増加部数の部」

令和元年度において全国農業新聞普及に顕著な成績をおさめたとして、一般社団法人全国農業会議所二田孝治会長より表彰を受けました。

今回の受賞は、全国農業新聞の購読部数が前年と比較して大きく増加したことによるもので、平成30年度は全国で7位、昨年度は全国1位の増加数となりました。

また、併せて、情報活動功労者として次の3名が表彰されました。

- 情報活動功労者
- 蛭田 元起 農業委員
- 草野 庄一 農業委員
- 鈴木 理 農業委員



全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回金曜日発行 月700円、年8,400円(税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。
■発行所 全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
☎03-6910-1130 ✉gyoumu@nca.or.jp
http://www.nca.or.jp/shinbun

農家の思いを伝え
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。

全国農業新聞は
地域農業者の代表機関である
農業委員会のネットワークが
発行する週刊の農業総合専門紙です。

農業者の視点でお届けします

- ①特徴のある週刊新聞
…解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- ②時代に鋭く斬り込む
…農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③経営に役立つ
…知っておきたい経営・流通情報と経営マインド
- ④喜びや悩みを共感できる
…読者の心に訴え、ともに考える
- ⑤読みやすく親しみやすい
…老若男女が楽しく読める

いわき市農業委員会だより

全国コンクール優秀賞受賞

全国の農業委員会が作成する広報紙「農業委員会だより」の第26回全国コンクールが開催され、当会で作成している農業委員会だよりが、「優秀賞」に選出されました。

このコンクールは、各都道府県からの推薦を受け応募のあった農業委員会だよりや各種広報紙の中から、厳正なる審査を経て選定されます。

取材にご協力いただいた皆様、配布にご協力いただいたJ A並びに各農事組合長様、ご愛読いただいた皆様のお力添えのおかげで、このような立派な賞を頂くことができました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後とも、いわき市農業委員会だよりをよろしくお願いたします。



今号の表紙から

夏、青葉茂れる季節である。山野は緑一色になり、生命力に満ち溢れる。

稲とて例外ではない。田植えの時は何となく頼りなく弱々しかった苗も、この頃には力強い姿となり、生きることを謳歌しているように思える。

畦畔の雑草も同じで、夏は伸びるのが早い。刈ってきれいになったと思うのはほんの数日、また生え出してくるので、この時期、というか春の田植えから秋の稲刈りまでの間、避けて通れないのが畦畔の草刈り作業である。

誰もが一番大変な作業と口にする。頃合いを見て作業をするわけだが、この頃急速に普及してきた歩行型の草刈り機を使っても重労働であることに変わりはない。暑い日は熱中症の心配もある。

稲はあと一か月もすれば出穂期を迎え、さらに一か月半後には刈り取り適期となる。だが今はまだ途中。管理に手がかかる。夏はまだ続く。

(撮影・執筆 蛭田元起 編集委員長)

がんばる農業者 あの人この人



細谷建築

代表 細谷 弘幸さん(52歳)

今回ご紹介するのは、平赤井地区の細谷弘幸さんです。

建築・建設業と農業の三足のわらじをはく細谷さんは、水稲21ヘクタール、受託作業5ヘクタールと、赤井地区の約3割をカバーし、生産者の高齢化や担い手不足の中、若手のリーダーとして、また、地域の担い手としてご活躍されています。

農業機械はもちろんのことながら、建築建設機械を多く所有している事は羨ましくもあり、

農業をやる上で大変心強いと感じました。

これからの農業経営の展望についての問いに、最新式の農業用機械を導入してスマート農業(ドローンの活用)、ICT(情報通信技術の活用)を実践し、省力化・コスト削減に努めた。また、品質の高い米を栽培して地元産の米を積極的に販売したいとの事でした。更にライスセンターを今後作りたいとも話されて

いました。

真剣に農業に取り組んできた弘幸さんに嬉しいことがありました。長男の美幸(よしゆき)さんが今年の秋より後継者になる事です。美幸さんの話をする時は、少し頬が緩んでいました。

弘幸さんが今後も地域の先導者として、益々活躍される事を大いに期待したいと思います。



ドローンを操作する細谷父子

(撮影・執筆 鈴木義直 委員)

農地流動化情報 Vol.45

農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談下さい。



お問い合わせ

農地調査係 ☎(22)7574

売りたい

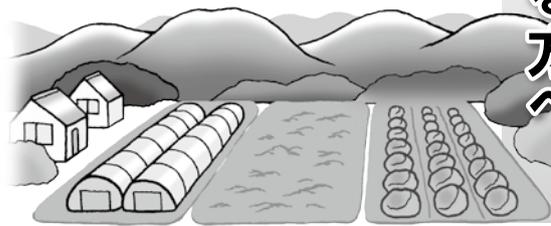
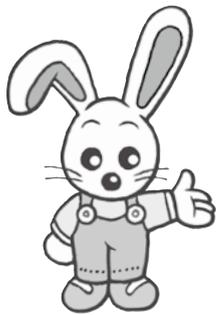
No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	平下大越字山ノ神 (1筆)	畑	4.93
2	三沢町弓張 (4筆)	田 貸地も可能	31.12
3	常磐西郷町忠多 (3筆)	畑・田 貸地も可能	8.14

上表の農地の詳細は、農地調査係へお問い合わせください。

農地の納税猶予を受けている方へ

引き続き農業経営を行うことを条件に、贈与税や相続税の納税猶予の適用を受けている農地は、農業経営の廃止や農地以外の転用、耕作の放棄などにより、一部例外を除いて納税猶予が打ち切られ、面積に応じ税額の全部または一部に利子税を付して納付が必要となります。

農地の納税猶予制度は、農地の相続等による農業経営の細分化を防止するとともに農業後継者を支援し、農業経営の継続を図るために設けられた税制上の特例措置です。制度を利用されている方は、引き続き農地の適正な活用をお願いいたします。



農業者年金に加入しませんか？

《農業者年金の特徴》

- 農業者年金は、農業者だけが加入できる国民年金の上乗せ年金(公的年金)です。
- 納めた保険料とその運用益により年金額が決まる積み立て方式です。
- 自分で月額保険料を決められます(2万円から6万7千円の範囲内の千円単位)。また、途中で月額を変更することができます。
- 任意脱退が可能です(脱退一時金はありません)。
- 支払った保険料は、加入期間に応じ、任意脱退しても将来受給できる年金額に反映されます。
- 加入後は、国民年金の付加年金(月額400円)にも加入していただく必要があります。

「農業者年金受給権者現況届」の提出はお済みですか？

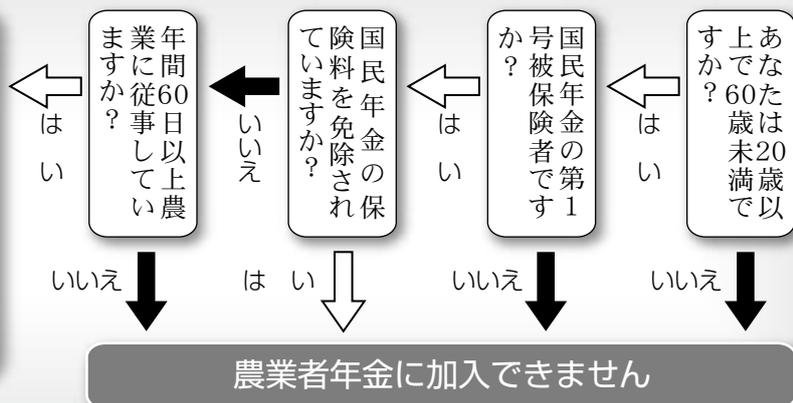
農業者年金を受けている方は、農業者年金基金から毎年5月下旬に郵送される「現況届」の提出が必要となります。

提出期限は6月末日となっております。まだお済みでない方は、農業委員会事務局へ提出してください。



お問い合わせ
農政振興係
☎(22)7534

農業者年金に加入できます！



トピックス

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り致します。

また、自身の感染リスクを顧みず日夜戦っている医療従事者の方々に敬意を表します。

執筆中の現在(4月下旬)は、緊急事態宣言を受け、桜など花を愛でる余裕もないまま新緑の時期を迎えようとしております。

私事ですが、3月には観光農園(いちご)の来園者数は激減、4月からは観光農園で多くの方に来園いただくよりも、ウイルス感染拡大を防止する観点から直売のみの営業としております。

観光業や飲食店など様々な分野での経済打撃は深刻な状態です。

いつ収束するのか見通せない現在、この状況が長く続くかもしれない可能性を考えますと、観光農園という営業形態も考え直す必要があるのかもしれない。

発刊される頃には事態が収束し、すべての人が笑顔でいられるよう願っております。

(執筆 蛭田秀史 副編集委員長)



2011年3月11日の東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により東京都から千葉、茨城、福島を経由して宮城県

の岩沼駅までを結ぶ常磐線は、かなりの区間で運行できない状態になりました。2014年には久ノ浜と竜田間が営業再開したものの、富岡と浪江間20.8kmは不通のままでした。

それがついに2020年3月14日に運転を再開し、9年ぶりに常磐線の全線がつながりました。全線開通に合わせて東京と仙台を直通で結ぶ特急ひたちも3往復で運転を再開しました。

て大きな役割を担うと思います。いろいろなところで運転再開を祝うポスターを見かけ嬉しく感じたのではないのでしょうか。約一年前には平成最後のJRの開業した駅としてJヴィレッジ駅が誕生しました。

隣接するJヴィレッジは災害時には原発事故の復旧作業の拠点として活用され、2020年東京オリンピックパラリンピックでは復興の象徴の拠点として聖火リレーの出発地に選ばれました。



しかし、新型コロナウイルスの影響で東京オリンピック、パラリンピックの延期が決定し、聖火リレーも中止、延期となり、お祝いムードも多くのイベントの中止や自粛に伴い半減してしまいました。新型コロナウイルス感染症を考慮して今は自粛するべきだと思いましたが、この騒動が早く収束して、広野駅の発車メロディに使用されている童謡「汽車」の歌詞の様に太平洋の海岸線を眺めながら車窓を流れていく美しい景色を堪能できる日常が来ることを願うばかりです。

(執筆 和田正人 委員)

編集後記

「災害は忘れた頃に」と言いますが、昨年の東日本台風の甚大な被害の傷が癒えないうちに、今度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、日本のみならず世界中に大きな被害が拡がっており、災害が頻繁に発生するよう感じる今日この頃です。

自然を相手にする農業は、有史以来、風水害や冷害、地震等、様々な災害との闘いでありました。先人たちは、そんな自然災害を何度も、何度も乗り越えて来ました。

地球温暖化の影響で異常気象が多くなり、今後は災害が多発するとの予測があります。先人たちが乗り越えてきた英知を見習い、それらの災害に立ち向かっていかなければならな

いと思えます。青々と茂り、初夏の風に揺れる水田を見ると、今年こそは災害もなく豊作の秋を迎えらるることを祈るばかりです。

(執筆 草野久仁昭 委員)

編集委員

- 蛭田元起委員長・蛭田秀史副委員長
- 遠藤重和・鈴木義直・草野久仁昭
- 箱崎寿正・和田正人